

予約について

キャンセル料は発生しますか？

キャンセル料は発生しませんが、受診日の3営業日前までにご連絡をお願いします。

健診当日、何を持っていけばいいですか？

①保険証(マイナンバー) ②事前にお渡しした問診票 ③便・喀痰検査のある方は検体 ④治療中の方はお薬手帳または薬の説明書をお持ちください。

外国人ですが受診できますか？

受診可能です。
お渡しする事前案内や問診票、当日のご案内や結果報告書はすべて日本語のみの対応となります。

オプション検査は当日でも申し込み可能ですか？

原則不可です。事前にお申し込みください。

健康診断の予約はいつまでにすれば良いですか？

希望日の3営業日前までにご連絡ください。
期日が短い場合は一度ご連絡ください。ご相談させていただきます。

予約日の変更・キャンセルはいつまでに連絡すれば良いですか？

分かりしだい早めにご連絡をお願いします。

予約時間に遅れそうです。どうしたら良いですか？

一度ご連絡ください。

健康保険証が変わりましたが、受診できますか？

受診できない場合もありますので、健康保険証が変わった時点で健康管理センターまでご連絡ください。

体調について

当日、体調が悪くなりました。健診を受けることはできますか？

一部の検査結果が異常となる可能性があります。
胃部 X 線検査では検査中に咳が出ると、ムセ込み、バリウムを誤嚥してしまうことがあります。
風邪症状のある方、発熱、咳の続く方は、受診日を変更して体調の良い時に改めて受診して下さい。

インフルエンザと診断されました。どうしたら良いですか？

厚生労働省は「インフルエンザ発症前日から発症後 3～7 日間は鼻やのどからウイルスを排出するといわれているためにウイルスを排出している間は、外出を控える必要がある」としています。排出されるウイルス量は解熱とともに減少しますが、解熱後もウイルスを排出するといわれています。排出期間の長さには個人差がありますが、咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には健診を避ける必要があります。症状がなくなり回復してから受診してください。

コロナ陽性と診断されました。どうしたら良いですか？

厚生労働省は「10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性のあることから、高齢者等ハイリスク者との接触は控える」とされております。
当健康管理センターでは診断後 2 週間、もしくは隔離解除後 7 日までは受診できません。
症状がなくなり回復してから受診してください。

家族でコロナ陽性と診断された人がいますが、健診を受けても良いですか？

現在、厚生労働省は、患者さんと同居している家族などに対する制限は設けていませんが、新型コロナウイルスが同居者から感染する可能性は高く、5 日間程度は要注意であると考えます。
受診の可否につきましては健康管理センターまでお問い合わせください。

飲食・喫煙について

健康診断の当日、食べ物や飲み物について

胃部X線検査・腹部超音波検査を受診される方は、前日21時までに夕食をすませて当日の朝食を抜いてご受診ください。(検査2時間前までは少量のお水は構いません)

上記検査がない方も採血・検尿がある場合、結果数値に影響がでますので、10時間以上お食事・糖分のあるものを抜いてご受診ください。

ガムや飴について

ガム・飴には糖分が含まれているため、血糖値に影響を与える可能性があります。またガムを噛むと、唾液や胃液の分泌が促され、バリウムが胃の壁に付着しにくくなるため、胃部X線検査の精度が落ちる可能性があります。食事と同様前日21時以降は避けてください。

健診当日のタバコについて

喫煙後約1時間程度は血圧が通常時より高くなります。また胃の動きを活発にしたり、胃液の分泌を増やしたりするため、胃部X線検査結果に影響が出る可能性があります。

不要な再検査をなくすためにも健診当日の喫煙はお控えいただき、健診受診をお願いします。

絶飲食が必要な場合、水分摂取をすることは少量でも検査に影響がありますか？

脱水症状を避けるため、起床時(検査2時間前まで)に100ml程度の水を摂取することは問題ありません。ただし、牛乳やコーヒー、スポーツドリンクなどは検査値に影響しますので飲まないようにしてください。

食事を摂ってきてしまいましたが、検査は可能ですか？

受診される検査項目により、対応が以下のように変わります。

血液検査	食事摂取後3.5～4時間あけての採血または受診日の変更
胃内視鏡検査 胃部X線検査 腹部超音波検査	前日の21時までに消化の良いお食事を済ませ、以後は禁飲食が原則です。よって受診日の変更が必要となります。

前日食べてはダメなものがありますか？

前日にうなぎや焼肉などの脂質が多いものを食べたりすると中性脂肪が上昇することがありますので採血前日は脂質の多いものは避けた方がよいと言えます。

水分は制限がなければ、禁止時間まではしっかり摂るようにしてください。

薬について

健診当日に薬を飲んでも大丈夫ですか？

朝の内服、糖尿病の注射は中止してください。インスリン注射もしないでください。
ただし、高血圧や心臓の薬は、朝6時までにはコップ少量の水で服用してください。
吸入薬、点鼻薬などは使用できます。

着替えについて

検査の時の着替えは？

胸部XP検査・胃部XP検査・骨密度検査を受ける方は、下着を外し上下ともに検査着にお着替えください。
ストッキング・ガードルは脱いでください。心電図・腹囲が正しく測れなくなります。
X線撮影で検査着に着替えるのは、人体の影に重なる邪魔な影が写らないようにするため＝まぎらわしい影が写るのをできるだけ避けるためです。金具・プラスチックの付いていない下着でも皮膚の食い込みラインが写る場合がありますので必ず外してください。(見落としの原因となります。)検査着の中は下着のパンツ一枚でお願い致します。

健診当日のメガネについて

視力検査は遠点距離(5m)を計測致します。
運転時や仕事のみメガネをご使用される方も、ご持参ください。

健診当日のコンタクトケースについて

眼底・眼圧測定を行う時にコンタクトを外していただきますのでコンタクトケースをご持参ください。
1dayコンタクトレンズをご使用の場合は、替えのコンタクトレンズをご持参ください。

採血について

健康診断前日のお酒は飲んでもよい？

健康診断の前日にお酒を摂取すると、アルコールの摂取によって肝臓の機能、中性脂肪、血糖、尿酸の検査結果に影響を及ぼす場合があります。

健康診断は自分の健康状態を知るためのものです。

正確な結果を得るため前日は休肝日としましょう。

採血されると思うと、気分が悪くなります。どうすればよいのでしょうか？

針を刺した後に一時的に血圧が低下し、めまい・気分不快・意識消失などを引き起こす方がいます。

心理的に緊張・不安が強いと起こるとされ、採血前に起こることもあります。

緊張しやすい方などは横になって採血しますので、お申し出ください。

血管が出にくいのですが？

健診前の水分不足は、採血時に血管が細くなるため、針を刺しにくく、採血が困難になる可能性があります。血管が細くなると、針を刺す際に血管壁を傷つけやすく、痛みを強く感じる場合があります。

検査前日はこまめに水分補給(水や麦茶など、糖分や脂肪分を含まないものが望ましい)を心がけ、血管の水分を維持しましょう。絶食や水分制限がある場合は医師の指示に従ってください。

採血が苦手です。

リラックスするためにゆっくり深呼吸をしましょう。緊張によって交感神経が働くことで血管は収縮してしまいます。深呼吸を数回行うだけでも副交感神経が働きリラックスさせる効果があります。

採血はどうしても緊張しがちなものですが、ほんの少しの工夫で、怖さがぐっと軽くなることもあります。私たち保健師も、「怖くなかった！痛くなかった。」と書いていただけるよう、心を込めて対応しています。不安なことがあれば、いつでも遠慮なくお声がけください。

採血する部位(場所)はどのように決めているのですか？

基本的には肘の中央部付近の血管から採血します。この部位は、痛みを感じる痛点が少ない、血管が逃げにくく神経にも触りにくいという理由からです。このあたりの血管が分かりにくい場合には、手の甲などで採血することもあります。

採血した部分が青くなりました。

内出血によるものと思われます。時間とともに青くなっている部分が少しずつ下方に移動して黄色がかり、1週間程度で吸収されていきます。採血直後に痛みや腫れがある場合は冷やし(ビニール袋に氷を入れて患部に当てるなど)、その後蒸しタオルで温めると吸収が早くなり効果的です。症状が長引いたりひどくなったりするようであれば、整形外科を受診してください。

なぜ何本も採血する必要があるのですか。

血液検査では、調べる内容によって採血管が異なります。そのため、採血の際には、それぞれの検査に応じた採血管に一本ずつ血液を採り分けています。

採血管の数が多いとたくさん血液を採っていると思われがちですが、一般的な定期健康診断では10ml程度、人間ドックなど多くても20ml位、大さじで例えると2杯分くらいの量です。

検便について

便がとれなかったのですがどうしたら良いですか？

可能な限り2本採るのが望ましいですが、1本でも検査可能です。
採便後の容器は高温多湿を避け、冷暗所で保管してください。

便の採取について

受診日を含めた5日以内に採取してください。
採取が終わりましたら、高温多湿を避け、冷暗所にて保管してください。
また便が1日分しか採取できなかった方も1日分のみ検査可能です。
健診日以外の別日でのご提出をご希望の場合は、健康管理センタースタッフにお申し出ください。

便秘で、便を2日連続で採取できない場合どうすればいいですか？

2日連続の採取でなくても問題ありません。
ただし、採取した日から6日以上経過した便は正確な検査結果がでない可能性があります。採取後5日以内の便の提出にご協力下さい。
なお、便は採取後、高温多湿を避け冷暗所(トイレの涼しいところなど)で保管して下さい。

胃がん検診(胃部X線検査・胃内視鏡検査)について

胃内視鏡検査は麻酔をかけて眠った状態でできますか？

眠った状態での胃内視鏡検査はできません。咽頭麻酔(のどの麻酔)での検査となります。

胃内視鏡検査は鼻からできますか？

鼻腔が狭い人、鼻の手術歴のある人、鼻炎や副鼻腔炎で鼻腔が炎症している人、抗血栓薬を内服中等出血しやすい人は鼻からの内視鏡検査はできません。

鼻から行う場合、カメラが細く視野が狭くなり詳細な診断が難しくなる、またカメラの解像度が低く詳細な観察が難しい場合があるなどのデメリットもあります。

医師が確認し可能と判断されれば対応となります。

胃部X線検査ができない人はどんな人ですか？

下記に当てはまる方は胃部X線検査ができません。検査申し込み時に必ずお知らせください。

腸閉塞や腸捻転の既往歴のある方

炎症性疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病・大腸憩室炎・急性胃腸炎)で治療中の方

上部消化管疾患で治療中の方

バリウム製剤や発泡剤にアレルギーのある方

妊娠中、または妊娠の可能性のある方

授乳中の方

心臓疾患や慢性腎臓疾患、人工透析中で水分制限のある方

脳梗塞等による麻痺症状や嚥下障害、パーキンソン病による運動障害がある方

体位変換が困難な方

80歳以上の方

体内植込み型医療機器(植込み型除細動器(ICD)、脳室腹腔シャント、脳室心房シャント、腰椎クモ膜下腔腹腔シャント)を装着されている方

体重135kg以上の方

胃部X線検査後、バリウム便が出ないのですが、どうしたらいいですか？

アルコール以外の水分を摂取後、市販の下剤等をご使用ください。また、腹痛、吐き気、嘔吐などの症状が持続する場合は医療機関を受診されることをお勧めします。

80 歳過ぎになりました。胃部X線検査はできないのですか？

高齢になると、若い人に比べて消化管の運動機能が低下しているため腸閉塞や腸管破裂のリスク、筋力が低下しているため検査台からの転落による骨折リスク、嚥下機能の低下による誤嚥のリスク等、様々な合併症が起こる可能性が高くなるので、当健康管理センターではお断りさせていただいております。

持続グルコース測定器／インスリンポンプを使用している場合、受診できない検査項目

マンモグラフィ、胃部X線検査、胸部X線検査、MRI検査、CT検査等の放射線検査を受ける場合、機器への影響や誤作動の可能性があるため、原則として取り外す必要があります。使用中の方は事前にお知らせください。

MRI検査について

歯にインプラントが入っていますがMRI検査を受けることができますか？

MRI対応のものでしたら可能です。口腔内磁石付インプラントがある場合磁石低下を起こす場合があります。主治医の歯科医師にお尋ねください。

刺青・タトゥーが入っています。MRIを受けることができますか？

着色顔料に酸化鉄などの金属成分(特に鉄分)が含まれおり、この金属成分が電磁場に反応してしまうと、アーチファクト(検査画像の乱れ)や、非常に稀ですが電流を生じて熱を帯びることで、施術部位に軽い熱感やチクチクとした刺激を感じる場合があります。まれに、火傷や変色を引き起こす可能性もあります。

ただし含まれている金属含有量は微量と言われているため検査は受けることはできますが、入れ墨やアートメイク を受けられた方は必ずお知らせください。

化粧品にも金属成分を使った商品があります。特に頭部や目の周囲を検査する場合は化粧を落としていただく場合もあります。

女性の方

妊娠の疑いがありますが、健診は受けても大丈夫ですか？

大丈夫です。ただし、胸部X線検査、胃部X線検査、マンモグラフィなど放射線の影響が懸念される検査項目は受診できませんのでお申し出下さい。

また子宮頸がん検診・乳がん検診では、流産の危険があるため受診することができません。

生理中でも健診を受けられますか？

健診を受けることは可能です。

子宮頸がん検診は正しい結果が得られない事もあるので基本的には受診することができません。

尿検査ではタンパクや潜血が陽性になりやすく、腎臓・尿路などの正確な診断はできません。

従って、生理終了後 5 日間ほどあけて検査することをお勧めします。

健診日と生理が重なってしまった場合は後日検尿に来ていただきます。

便検査は潜血反応が出てしまうのでできません。

授乳中です。検診は受けても大丈夫ですか？

胃部X線検査後の下剤(センノシド)が母乳に移行する可能性があり、乳児が下痢をすることがあります。服用後24時間母乳ではなくミルクで対応可能な場合検査できます。検査終了後は、24時間の断乳が必要です。

マンモグラフィ検査は乳腺が発達した状態になっており、マンモグラフィでは全体が白く写ってしまうため、正確な診断が困難となります。卒乳後(6ヶ月を目安)に実施してください。

乳がん検診について

豊胸・整胸術を行っていますが、乳がん検診を受けられますか？

豊胸術後はお受けできません。

インプラントと乳腺が重なって乳腺全体を確認できず正しく診断できません。また破損リスクもあることからお断りさせていただいております。

乳腺手術を受けています。検診ができますか？

乳房切除後は通常の乳がん検診とは異なり、手術後の再発チェックになるためお受けできません。手術と反対側(健側)のみであればお受けできます。

被ばくが心配です。

一回の検査で受ける放射線量は、通常、健康に影響を与えるレベルではありません。医療被ばくに関して不安がある場合は、ご相談ください。

マンモグラフィとエコー検査どちらを受ければ良いですか？

40歳以上の方は、乳腺が減少してくるためマンモグラフィが有効とされています。乳がんがある場合は画像に白く写りますが、乳腺も白く抽出されるため、がんかどうかの判断が難しい場合があります。そのため乳腺が発達(高濃度乳房)している若い世代には向かないとされています。

40歳以上の方は、まずマンモグラフィを行い、異常が見つかった場合は追加検査として乳腺超音波検査を受ける流れが良いです。

20代や30代の方は、乳腺が発達していて乳腺の密度が濃くなる(高濃度乳房)ため、乳腺超音波検査(エコー検査)が適しています。乳腺超音波検査は痛みや放射線被ばくがなく、乳腺の内部にあるしこりを発見しやすいというメリットがあります。

子宮がん検診について

子宮の手術をしています。子宮頸がん検診は行えますか？

子宮全摘出後で子宮頸部がない場合は、子宮頸がん検診の対象外となります。
子宮体部を摘出し、子宮頸部を残す方式で手術した場合や、子宮頸部円錐切除術等は検診の対象となります。

性交渉未経験です。子宮頸がん検診を行ったほうが良いですか？

子宮頸がんの95%以上はHPVが原因であり、性交未経験であるとHPVに感染する機会がありません。しかし、HPVが関与しない特殊腺がんが発生するリスクは限りなく低いものがあるため、子宮頸がんになる可能性が全くないとは言い切れません。つまり性交経験がないから検診を受ける必要がないわけではありません。ただし、処女膜が破れて出血したり、痛みを伴って、結果的に何もなかったというデメリットやリスクも踏まえた上でご希望があるのであれば受けていただけます。

HPV検査を受けたら「陰性」もうHPV検査は受けなくて良いの？

HPV検査が陰性だった場合、高リスクHPVに感染していない状態であるか、感染しているがウイルス増殖を抑えている(潜伏)状態であるのか区別できません。性交渉の経験がある女性のほとんどはHPVに感染したことがあると言われていています。性交渉の経験のある女性では年齢が高くなるほど、HPV検査が陰性であっても実は潜伏感染していると言われていています。ウイルスが見つからなかったといって、ずっと安心というわけではありません。
これまでの結果が【細胞診検査:異常なし】【HPV検査:陰性】であれば、HPV検査は2~3年に1度受ければ良いでしょう。

検査結果について

結果報告書の再発行は可能ですか？

可能です。文書料が必要となります。

画像データが欲しいのですが。

別途料金にて画像の提供を行っております。来院いただきお渡しします。

健康診断の結果の一部を結果報告書に載せないことはできますか？

事実と異なる報告は犯罪行為に該当する可能性があるため、対応致しかねます。報告を希望されない場合は検査を事前にキャンセルすることも可能です。ただし団体で契約されている方の場合、検査のキャンセルをすることが契約不履行に問われる可能性もありますので、事前に所属団体へご連絡頂き、許可を受けるようお願い致します。

支払いについて

クレジットカードでの支払いはできますか？

クレジットカードでの支払いは可能です。
サインでの対応は致しかねますのでご了承ください。
なお、電子マネーは使用できません。